

塗り壁のお手入れ方法

内装材

● 普段のお手入れ

毛の柔らかなホウキを使って塗り壁をやさしく掃きます。



上から下に向かってやさしく掃くような感じでホコリを取り除きます。ウェーブ仕上げなど、左右方向に模様付けがハッキリと出ている場合は、模様付けの目に沿って掃ってください。

● 表面に汚れが付着した場合

消しゴムを使って、上からトントンとたくような感じで汚れを取り除きます。



※汚れが広がる場合がありますので、消しゴムを擦り付けしないでください。また、消しゴムを強く擦り付けると、塗り壁が変色する場合があります。
※醤油や油などが染み込んだ汚れは、塗り替え、または「エコ美ウォール」によるリフォームが必要です。
※水拭きはしないでください。変色や劣化の原因になります。



エコ美ウォール(P.208)

● 傷みやチリ切れが見られる場合

別売のタッチアップ材で部分補修をします。



補修部の付着物や油分を取り除いた後、ペインティングナイフやヘラを使って、タッチアップ材を塗布します。

※補修部の周りに“浮き”があると補修後に剥離する恐れがありますので、補修前に取り除いてください。

※塗布後、乾燥するまで補修部には触れないでください。

※天然の原料を使用していますので、多少の色差があります。



塗り壁補修用タッチアップ材 内装・天井用(P.209)

カビの発生により塗り替えが必要な場合は、以下の手順で行ってください。

※各工程での乾燥は十分に行ってください。

※塗り替えにより、施工当初の状態になりますが、自然発生的な糸状菌(カビ等)の再発を完全に防ぐことはできません。湿気の多い場所、換気が悪い場所、湿った状態が長く続く場所などは、特にカビが発生しやすいことをご理解ください。

● 塗り壁に強度低下が見られる(ポロポロしている)場合

①「ハクリパック・A(P.209)」で古壁を除去

②「カビ止めシーラー(P.222)」を塗布

③「ニューSKプラスター(P.224)」などのリフォーム対応下塗材を塗布

④「けいそうモダンコート内装」などの上塗材を塗布

※さらにカビ止め効果を高めたい場合は、上塗材に「カビストップ(P.206)」を混ぜてください。(カビストップは粉体タイプの上塗材専用です。)

● 塗り壁の強度がある(しっかりと接着している)場合

①「カビ止めシーラー(P.222)」を塗布

②「エコ美ウォール透湿タイプ(P.208)」を塗布

※各上塗材で仕上げる場合は、「カビ止めシーラー」を塗布後、「ニューSKプラスター(P.224)」を塗布し、上塗材を塗布してください。(けいそうモダンコート内装、けいそうリフォームなどのリフォーム対応商品の場合は、「ニューSKプラスター」の塗布は不要です。)

● 天井材のお手入れについて

基本的には「内装材」と同じですが、内装材に比べ塗り面がデリケートにできているため、過度なホウキかけは避けてください。

外装材

● 普段のお手入れ

やや硬目で毛足の長いホウキを使って、模様付けの目に沿って掃きます。



模様付けの目に沿ってホコリを掃きます。模様付けの凹凸が小さい場合や、模様付け無し仕上げの場合は、上から下に向かって掃ってください。

※デッキブラシなど毛足の短い硬めのブラシは使用しないでください。塗り壁に傷などが付く恐れがあります。

● 雨ダレなどのヨゴレの除去(「スーパートップコート」未塗布の場合)

薄めた中性洗剤で汚れを浮かしてから、ブラシで洗浄した後、ホースの水で洗い流します。



※塗り壁を傷つけないナイロン製のブラシなどをお使いください。
※模様付けの目に沿って洗浄してください。
※高圧洗浄機の使用は、塗り壁を傷める場合がありますので、ご使用の際にはご注意ください。

● 雨ダレなどのヨゴレの除去(「スーパートップコート」塗布済の場合)

ホースの水で汚れを洗い流します。



「スーパートップコート」などの親水性塗膜を形成する商品は、通常、雨水により汚れが洗い流されますが、雨水のあたらない場所や、特に汚れが目立つ場所については、ホースの水で汚れを洗い流してください。

※高圧洗浄機の使用は、塗り壁を傷める場合がありますので、ご使用の際にはご注意ください。



スーパートップコート(P.205)

● 傷みやチリ切れが見られる場合

別売のタッチアップ材で部分補修をします。

補修部の付着物や油分を取り除いた後、ペインティングナイフやヘラを使って、タッチアップ材を塗布します。

※補修部の周りに“浮き”があると補修後に剥離する恐れがありますので、補修前に取り除いてください。

※塗布後、乾燥するまで補修部には触れないでください。

※天然の原料を使用していますので、多少の色差があります。



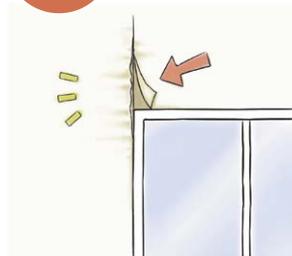
塗り壁補修用タッチアップ材 外装用(P.209)

● カビなどの除去

市販のカビ取り剤でカビを死滅させ、水で洗い流します。

※カビなどの汚れがひどい場合は、「カビ止めシーラー(P.222)」を塗布後、「エコ美ウォール耐水タイプ(P.208)」の塗布をおすすめします。

ご注意! 内装リフォームの際に!



ビニルクロスの上から塗り壁を施工する場合、特に“クロス同士の継ぎ目部分”にご注意ください。継ぎ目部分は結露の際に湿気が残りやすく、また“剥がれ”が発生しやすいので、リフォームの際は必ず、ご確認ください。

接着処理を行わず、塗り壁を施工した場合、「フクレ」や「ひび割れ」の原因になりますので、ご注意ください。